



規模；桁行 7.5 間 (約 13.6m) ・ 梁間 5 間 (約 9.2m)
構造；広間型平面 ・ 寄棟造り ・ 茅葺型銅板葺

旧栗山家主屋(目黒区古民家)は、江戸時代から「たけのこ」の特産地として知られていた目黒に今も残る、竹林の美しい「すずめのお宿緑地公園」にあります。

栗山家は旧衾村で「年寄」という役職を代々勤めた家柄で、普通の農家よりも規模が大きく、一般には禁じられていた長屋門を前面に配した格式の高いものでした。建てられた年代は、大改修の記録や軸組・建築様式から、江戸時代中期と推測されています。

法規制により茅葺屋根を茅葺型の銅板葺にしたほかは、ほぼ往時の通り復元しています。長屋門は現在解体・保存されています。



土間



いろいろ

きゆうくりやまけおもや
旧栗山家主屋
目黒区指定有形文化財(建造物)